

2009年9月

各位

医療・介護用ベッド安全普及協議会

### 『電動ベッドご使用時の注意』について

拝啓

時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご利用者様が電動ベッドの土台と可動部分との間に挟まれた状態で発見され、死亡されたとの報道がございました。詳細な状況は不明ですが、ご利用者様が誤って電動ベッドのリモコンを操作され、挟まれた可能性があるとのことです。

亡くなられたご利用者様には、心よりお悔やみ申し上げます。

医療・介護用の電動ベッドは、看護及び介護労力の省力化、及びご利用者様の療養環境の快適化や自立した生活の支えに資する用品として利用が拡大しております。

利用の拡大にともない、安全性に関する関心が高まってまいりました。ベッドを安全にご利用いただくためには、製品の安全性を高めることに加え、その機能や操作方法を十分にご理解いただき、正しく安全にご利用いただくことが必要です。

つきましては、今回の事故事例を踏まえ、電動ベッドの操作にともなう事故の発生を未然に防止するために、利用者の皆さまにお守りいただきたい注意事項の一部をご紹介しますのでご確認下さい。

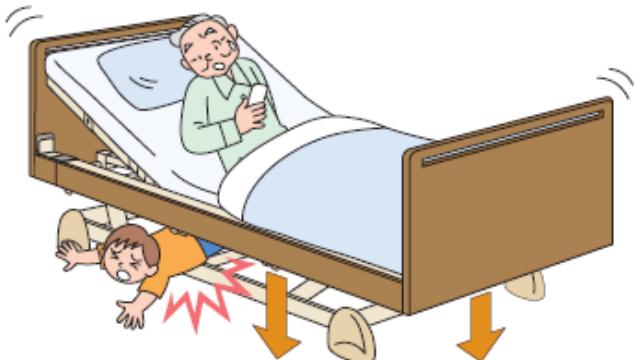
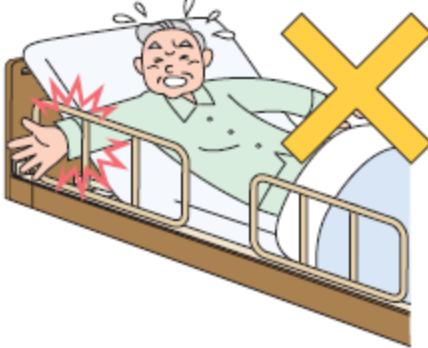
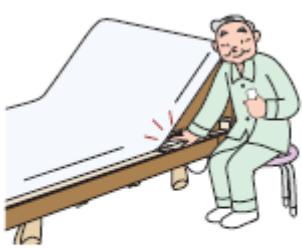
また、当協議会では、医療・介護用ベッドをより安全にご利用いただくため、「電動介護ベッドハンドブック (<http://www.bed-anzen.org/use/anzen.html>)」や「ベッドの安全使用マニュアル (<http://www.bed-anzen.org/use/anzen.html>)」などを発行しております。これらにはベッドを安全にご利用いただくための情報やベッドの便利な使用方法等を掲載しておりますので、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

当協議会では、従来より安全性の向上に取組んでまいりましたが、引き続き安全で使いやすい製品の開発に注力するように協議会加盟各社を指導してまいります。

利用者の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

## 電動ベッドご使用時の注意事項

ベッドの下に入らない	サイドレールに手や足を入れない
	
ベッドの下などにもぐり込まないで下さい	電動操作中は手や足を入れないで下さい
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ベッドの下にもぐり込んだり、ベッド内に身体の一部（頭や腕）などを入れないでください。ベッドの可動部分（ボトムなど）とフレームやベッドサイドレールとの間に頭・腕や足をはさんでケガをするおそれがあります。ベッドポジション操作時は、ベッドの下やうしろに障害物がないことを確認のうえ、操作してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電動操作中は、ベッドフレーム、背ボトムなどの下に手や足を入れないでください。下がってきたベッドフレーム、背ボトムなどで手や足をはさんでケガをするおそれがあります。</li> </ul>
指ばさみ注意	足先に注意
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●背ボトムや足ボトムを下げるときには、ボトムの下に手や指を絶対に入れないでください。ボトムとオプション受けなどの間にはさまれてケガをするおそれがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ベースフレームの上に足をかけたり、足先をベースフレームの下につっこんだりしないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。</li> </ul>

うつ伏せで背上げしないで下さい	誤操作を防止するためプラグを抜いて下さい
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● うつ伏せに寝た状態での背上げは関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。絶対に行わないでください。</li> <li>● 頭側、足側が反対の状態で寝ないでください。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼児や操作が理解できないと思われる方（認知症の方など）が一人で手元スイッチに触れる可能性がある場合（介護をする方の外出時など）には、電源プラグをその都度抜いてください。誤操作によりケガをするおそれがあります。</li> </ul>
手元スイッチはここにかけて	取扱説明書を読みましょう
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手元スイッチを上図の位置にかけないと、無意識にスイッチに触れて誤操作する恐れがあります。</li> <li>● 手元スイッチは上図の位置にかけましょう。お使いになる方の理解度が低下している場合は、手元スイッチを手の届かないところにおきましょう。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しい使用方法を知らないと、思わぬケガをする恐れがあります。</li> <li>● 介護を受ける方はもとより家族等も取扱説明書を読みましょう。</li> <li>● 症状によっては、ベッド操作（背上げ・膝上げ・昇降）をすることが症状に適さない場合があります。使用に際し不安のある方、治療中の方は、医師に相談の上ご使用しましょう。</li> </ul>

※当協議会発行の『電動介護ベッドハンドブック』より抜粋

### 電動ベッドをより安全にご使用いただくために以下もご確認下さい。



<http://www.bed-anzen.org/use/anzen.html>



<http://www.bed-anzen.org/use/anzen.html>